

令和6年度

専攻科学生募集要項

〔 入学案内 〕
〔 出願書類添付 〕



独立行政法人国立高等専門学校機構

福井工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Fukui College

〒916-8507 福井県鯖江市下司町

TEL (0778) 62-8290 (学生課直通)

FAX (0778) 62-2490 (学生課直通)

E-mail nyushi@fukui-nct.ac.jp

新型コロナウイルス感染症の影響により、学生募集要項の内容に変更が生じる場合があります。変更がある場合は、本校ホームページにてお知らせしますので、最新の情報を確認するよう留意してください。

【本校ホームページ】 <https://www.fukui-nct.ac.jp/>

目 次

I	募集人員	1
II	入学者受入方針（アドミッションポリシー）	
	1. 求める学生像（専攻科共通）	1
	2. 入学者選抜の基本方針	1
III	選抜方法	1
IV	推薦による選抜	
	1. 出願資格	2
	2. 出願手続	2
	3. 選抜の方法	3
	4. 選抜当日の注意	3
	5. 合格者の発表	3
	6. 入学確約書の提出	4
	7. 入学手続等	4
	8. 「推薦による選抜」に合格とならなかった者の「学力検査による選抜」の受験	4
	9. 追試験の実施	4
V	学力検査による選抜	
	1. 出願資格	5
	2. 出願手続	5
	3. 選抜の方法	7
	4. 選抜当日の注意	8
	5. 合格者の発表	8
	6. 入学確約書の提出	8
	7. 入学手続等	8
	8. 追試験の実施	8
VI	社会人特別選抜	
	1. 出願資格	9
	2. 出願手続	9
	3. 選抜の方法	10
	4. 選抜当日の注意	11
	5. 合格者の発表	11
	6. 入学確約書の提出	11
	7. 入学手続等	11
	8. 追試験の実施	11
VII	入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	12
VIII	TOEICテスト及び英検の評価点数	13

入 学 案 内

1.	本校専攻科の教育理念	14
2.	専攻科の制度及び目的	15
3.	「環境生産システム工学」教育プログラム	15
4.	専攻及び入学定員	15
5.	修業年限及び修了要件	15
6.	専攻科の教育課程	15
7.	学士の学位取得	18
8.	入学時に必要な経費	19
9.	入学料・授業料の減免・徴収猶予及び給付奨学金制度	19
10.	貸与奨学金制度	19
11.	入学者選抜に関する個人情報の取扱いについて	20

添 付 書 類

入学願書、調査書、写真票・受験票、推薦書、小論文等用紙、振込依頼書

令和6年度 専攻科学生募集要項

I 募集人員

生産システム工学専攻	12名
環境システム工学専攻	8名

II 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

1. 求める学生像（専攻科共通）

福井工業高等専門学校専攻科では、次のような資質や意欲を持つ人を広く求めています。

- ・得意とする工学分野の基礎能力（数学的素養を含む）を身に付けている人
- ・何事にも自主的・能動的に臨む姿勢を持つ人
- ・ものづくり・環境づくりに意欲のある人
- ・多様なシステムを理解し、創造的にデザインする能力を身に付けたい人
- ・国際社会で活躍できる実践的技術者を目指す人
- ・学士（工学）の学位を取得したい人

2. 入学者選抜の基本方針

（1）推薦による選抜

在籍する高等専門学校の長が学業成績、人物ともに優れていると認め推薦し、本校専攻科への入学意欲が強い志願者のうち、出願時に提出する推薦書・調査書・小論文等に基づいた面接の結果を評価して選抜します。

（2）学力検査による選抜

本校専攻科への入学意欲がある志願者のうち、学力検査（英語（TOEIC スコア等による換算を含む）、数学、専門科目）、出願時に提出する調査書・小論文等に基づいた面接の結果を総合的に評価して選抜します。

（3）社会人特別選抜

企業等に一定以上の在職期間を有し、所属する企業等の長が勤務成績、人物ともに優れていると認め推薦し、本校専攻科への入学意欲が強い志願者のうち、出願時に提出する推薦書・調査書・小論文等に基づいた面接の結果を評価して選抜します。

III 選抜方法

入学者の選抜は、**推薦による選抜**、**学力検査による選抜**及び**社会人特別選抜**とし、次のとおり行います。

区 分	選 抜 方 法 ・ 日 程		
	推薦選抜	学力選抜	社会人特別選抜
出願期間	令和5年5月8日（月） ～10日（水）	令和5年5月30日（火） ～6月1日（木）	令和5年10月17日（火） ～19日（木）
選抜期日	令和5年5月20日（土）	令和5年6月18日（日）	令和5年11月12日（日）
合格者発表	令和5年5月26日（金）	令和5年6月23日（金）	令和5年11月17日（金）
入学確約書提出期限	令和5年6月9日（金）	令和5年11月30日（木）	令和5年12月1日（金）

IV 推薦による選抜

1. 出願資格

次の各号に該当する者としてします。

- (1) 令和6年3月に高等専門学校卒業見込みの者で、学校長が学業成績、人物ともに優れていると認め推薦する者
- (2) 学年末の学科内席次が在籍したクラス定員の上位1／2以内である者(第3学年と第4学年の平均席次又は第4学年の席次)

専攻科修了には、本校が定める「環境生産システム工学」教育プログラムの修了要件を満たす必要があります。このため、本校以外の高専から本校専攻科を受験される場合には、出身高専での修得単位について、本校規定に従って読替を行い、専攻科設置科目の履修によってプログラムの修了要件を満たすことが可能かを確認させていただきますので、入学願書受付開始日の3週間前までに本校学生課入学試験係にお問い合わせください。

2. 出願手続

(1) 願書受付

期 間	令和5年5月8日（月）から令和5年5月10日（水）まで
時 間	午前9時から午後4時まで(郵送の場合は、5月10日(水)午後4時までに必着のこと。)
場 所	〒916-8507 鯖江市下司町 独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校 学生課入学試験係

(2) 出願書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
調 査 書	本校所定の用紙により学校長が作成し、厳封したものとします。ただし高等学校から高等専門学校に編入学した者は、出身高等学校の調査書も添付してください。
成績証明書	在籍する学校所定の用紙を使用し、卒業要件科目であるが「出願時点においては不可となっている科目」も含め、学校長が作成したものを提出してください。
写 真 票 ・ 受 験 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ってください。 (写真は、正面上半身、無帽、無背景(縦4cm×横3cm)で、出願前3か月以内に撮影したものとします。)
推 薦 書	本校所定の用紙により、学校長が作成したものとします。
小 論 文 等 用 紙	本校所定の用紙に横書きで文字数800字程度の小論文課題（必ず手書きのもの）と語学（英語）スキルを記入してください。
検 定 料	16,500円 ア 本校所定の振込依頼書により、志願者本人の名義で金融機関の窓口から振り込んでください。入学願書の検定料振込受付証明書（貼付場所）に検定料振込受付証明書を貼付してください。 なお、振込時に別途必要な 振込手数料は入学志願者本人の負担 となります。 イ 振込受取書と検定料振込受付証明書は、金融機関の受領印があることを確認のうえ受け取ってください。 ウ 振込受取書は本人の控えとして、受験票が手元に届くまで大切に保管してください。
返信用封筒	郵送で出願する場合は、長形3号(120mm×235mm)の封筒に、志願者の住所、郵便番号及び氏名を記入し、354円(速達料を含む。)分の切手を貼ってください。
そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、居住する市区町村長の発行する「住民票の写し」を提出してください。

※ 出願に関する注意事項

- ア. 郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。
- イ. 出願書類等の不備なものは受け付けません。
- ウ. 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学を取り消すことがあります。
- エ. 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- オ. 受理した出願書類及び検定料は返還しません。

ただし、次の場合は検定料の返還請求ができます。

- (1) 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は受理されなかった）場合
- (2) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- (3) 返還請求の方法

①返還請求の理由、②氏名（ふりがな）、③現住所、④連絡先電話番号、⑤振込口座の金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義(志願者本人)を明記した「検定料返還請求書」(様式自由)を作成し、「振込受取書」を添付して下記送付先へ速やかに郵送すること。(封筒には「返還請求書在中」と記入すること。)

なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。

返還請求期限 令和6年2月22日(木) 午後5時必着

送付先 〒916-8507 鯖江市下司町 独立行政法人国立高等専門学校機構
福井工業高等専門学校総務課財務係

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、以下のとおりとします。

- (1) 検査期日 令和5年5月20日(土)
- (2) 検査内容 面接
- (3) 検査会場 本校

なお、小論文の課題は、「志望の動機、研究計画及び将来の抱負(800字程度)」です。

※ 推薦による選抜における選抜基準は次のとおりです。

- (1) 出願時に提出された小論文等用紙の内容及び出身学校長からの提出書類に基づいた面接(小論文に関する口頭試問を含む。一部、英語による質疑応答を行います。)において、本校専攻科のアドミッションポリシーにあった者であると判定されること。
- (2) 上記(1)を満たした者に対して、面接及び出身学校長からの提出書類の内容により合否を判定する。

4. 選抜当日の注意

- (1) 午前9時までに一般教育棟大講義室前玄関ホールにて受付を済ませてください。
- (2) 面接開始後、20分を経過した場合は、原則として受験できません。

5. 合格者の発表

選抜の結果は、令和5年5月26日(金)午後1時に本校構内に掲示するとともに、同日午後1時以降に本校ホームページ上でも発表します。(URL <https://www.fukui-nct.ac.jp/>)

また、合格者には「合格通知書」を送付し、併せて推薦者あて合否を文書で通知します。

6. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、『入学確約書』を令和5年6月9日（金）午後4時までに、本校学生課入学試験係へ提出してください。

なお、期限までに『入学確約書』を提出しない場合は、入学の意志がないものとして取り扱います。

7. 入学手続等

入学手続日、入学に必要な書類及び経費については、『入学確約書』提出者に、後日通知します。

8. 「推薦による選抜」に合格とならなかった者の「学力検査による選抜」の受験

「推薦による選抜」の結果、合格とならなかった者で「学力検査による選抜」の受験を希望する者は、「学力検査による選抜」に定めるところにより、再度出願の手続きを行ってください。

なお、この際は「調査書」の提出は必要ありません。（「推薦による選抜」出願時に「不可」科目だったものが、「可」以上に変更となった場合、成績証明書を再度提出してください。）

9. 追試験の実施

「推薦による選抜」において、下記に掲げる志願者を対象として追試験を実施します。

- (1) 対象者：感染症等に罹患、又は罹患している疑いがある者で、医師の診断書又はそれに類すると判断できるものを有する者
- (2) 追 試 験 日：令和5年6月3日（土）
- (3) 受 験 地：本校
- (4) 合格通知日：令和5年6月9日（金）
- (5) 入学確約書の提出期限：令和5年6月23日（金）午後4時

V 学力検査による選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 高等学校の専攻科の課程を修了した者又は令和6年3月修了見込みの者のうち学校教育法第58条の2の規定により大学に編入学することができる者
- (3) 短期大学を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程を修了した者又は令和6年3月修了見込みの者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者又は令和6年3月修了見込みの者
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (8) その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

専攻科修了には、本校が定める「環境生産システム工学」教育プログラムの修了要件を満たす必要があります。このため、本校以外から本校専攻科を受験される場合には、出身校での修得単位について、本校規定に従って読替を行い、専攻科設置科目の履修によってプログラムの修了要件を満たすことが可能かを確認させていただきますので、入学願書受付開始日の3週間前までに本校学生課入学試験係にお問い合わせください。

また、本校卒業生についても、確認が必要な場合がありますので、同様にお問い合わせください。

2. 出願手続

(1) 願書受付

期 間	令和5年5月30日（火）から令和5年6月1日（木）まで
時 間	午前9時から午後4時まで（郵送の場合は、6月1日（木）午後4時までに必着のこと。）
場 所	〒916-8507 鯖江市下司町 独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校 学生課入学試験係

(2) 出願書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
調 査 書	本校所定の用紙により出身学校長が作成し、厳封したものとします。ただし、出願資格(1)により出願する者で高等学校から高等専門学校に編入学した者は、出身高等学校の調査書も添付してください。 また、出願資格(4)により出願する者は、次の①又は②のいずれか、及び③の書類を提出してください。 ① 専修学校が発行する、修業年限2年以上で修了に必要な総時間数が1700時間以上の専門課程を修了したこと又は修了見込みであることの証明書 ② 専門士の称号授与証明書又は授与見込み証明書 ③ 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 なお、出願資格 (5)～(8) による場合は、資格に係る最終学校の成績証明書をもちてこれに代えることができます。
成績証明書	出身学校所定の用紙を使用し、卒業要件科目であるが「出願時点においては不可となっている科目」も含め、学校長が作成したものを提出してください。

写 真 票 ・ 受 験 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ってください。 (写真は、正面上半身、無帽、無背景(縦4 cm×横3 cm)で、出願前3か月以内に撮影したものとしします。)
小 論 文 等 用 紙	本校所定の用紙に横書きで文字数800字程度の小論文課題（必ず手書きのもの）と語学（英語）スキルを記入してください。
検 定 料	16,500円 ア 本校所定の振込依頼書により、志願者本人の名義で金融機関の窓口から振り込んでください。入学願書の検定料振込受付証明書（貼付場所）に検定料振込受付証明書を貼付してください。 なお、振込時に別途必要な 振込手数料は入学志願者本人の負担 となります。 イ 振込受取書と検定料振込受付証明書は、金融機関の受領印があることを確認のうえ受け取ってください。 ウ 振込受取書は本人の控えとして、受験票が手元に届くまで大切に保管してください。
公式認定証 又は 合格証書等	TOEICや実用英語技能検定試験による外部試験評価を申請する場合は、証明書を提出してください。受付後、速やかに返却します。
返信用封筒	郵送で出願する場合は、長形3号(120mm×235mm)の封筒に、志願者の住所、郵便番号及び氏名を記入し、354円(速達料を含む。)分の切手を貼ってください。
そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、居住する市区町村長の発行する「住民票の写し」を提出してください。

※ 出願に関する注意事項

- ア. 郵送の場合は必ず**書留郵便**とし、封筒に「**専攻科出願書類在中**」と**朱書き**してください。
 - イ. 出願書類等の不備なものは受け付けません。
 - ウ. 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学を取り消すことがあります。
 - エ. 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
 - オ. 受理した出願書類及び検定料は返還しません。
ただし、次の場合は検定料の返還請求ができます。
- (1) 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は受理されなかった）場合
 - (2) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - (3) 返還請求の方法

①返還請求の理由、②氏名（ふりがな）、③現住所、④連絡先電話番号、⑤振込口座の金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義(志願者本人)を明記した「検定料返還請求書」(様式自由)を作成し、「振込受取書」を添付して下記送付先へ速やかに郵送すること。(封筒には「返還請求書在中」と記入すること。)

なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。

返還請求期限 令和6年2月22日(木)午後5時必着

送付先 〒916-8507 鯖江市下司町

独立行政法人国立高等専門学校機構
福井工業高等専門学校総務課財務係

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、学力検査（英語（100点）、専門（150点）、数学（100点））、小論文等用紙(出願時提出)及び面接（小論文に関する口頭試問を含む。）により行います。

なお、小論文の課題は、「志望の動機、研究計画及び将来の抱負（800字程度）」です。

※学力検査「英語」は、外部の試験による評価をもって代えることができます。対象となる外部試験及び対象者は、

①TOEICテスト(国際コミュニケーション英語能力テスト、又は、IPテスト(本校において受験した者))で令和4年4月1日以降に320点以上のスコアを得ている者。

②実用英語技能検定試験(以下「英検」という。)2級以上に合格している者。

で、申請することで別紙1（p13のとおり）の評価点数が与えられます。

申請者は、出願時に上記①については、「公式認定証」又はIPテストにおける「個人成績表」、

②については、「合格証書」を持参又は郵送してください。(受付後、速やかに返却します。)

(1) 検査期日等

期 日	科 目 等	時 間
令和5年6月18日（日）	英 語	9:15～10:15
	専 門	10:30～12:00
	数 学	13:00～14:00
	面 接	14:15～

(2) 学力検査科目及び出題範囲

科 目	出 題 範 囲	
英 語	英語全般	
数 学	線形代数、微分積分（1変数及び2変数、微分方程式を含む。）	
専 門	A群	熱流体力学、材料力学、材料・工作法、工業力学（4分野）
	B群	電気回路、電磁気学、電子回路、電子工学、論理回路（5分野）
	C群	電気電子工学、計算機工学、計算機システム、計算機科学、ソフトウェア（5分野）
	D群	有機化学・生化学、無機化学・分析化学、物理化学、化学工学（4分野）
	E群	構造力学、水理学、地盤工学、計画学・衛生工学（4分野）

専門については、A～E群の中から一つを選び、群の中の問題から3分野の問題を選択し解答してもらいます。選んだ群及び分野以外の問題に解答しても採点されません。

また、専門の筆記試験時間中は、本校から電子式卓上型計算機（CASIO fx-260A）（以下「電卓」という。）を貸与します。貸与したものを使用してください。検査日の2日前までに本校学生課入学試験係までに問い合わせすれば、窓口にて電卓を確認できます。検査日当日は電卓に関する質問は原則受け付けません。

(3) 検査会場 本校

※ 学力検査による選抜における選抜基準は次のとおりです。

(1) 出願時に提出された小論文等用紙の内容及び出身学校長からの提出書類に基づいた面接（小論文に関する口頭試問を含む。）において、本校専攻科のアドミッションポリシーにあった者であると判定されること。

(2) 学力検査における各科目の得点が、原則としてそれぞれ満点の40%以上であること。

(3) 上記(1)及び(2)を満たした者に対して、学力検査各科目の得点の合計、面接及び出身学校長からの提出書類の内容により可否を判定する。

4. 選抜当日の注意

- (1) 午前9時までに一般教育棟大講義室前玄関ホールにて受付を済ませてください。
- (2) 外部試験評価対象者であっても学力検査「英語」を受験することができます。ただし、受験しない場合も、午前9時までに受付を済ませてください。
- (3) 学力検査及び面接の開始時刻に遅れないようにしてください。
各科目の検査及び面接開始後、20分を経過した場合は、原則として受験できません。

5. 合格者の発表

選抜の結果は、令和5年6月23日（金）午後1時に本校構内に掲示するとともに、同日午後1時以降に本校ホームページ上でも発表します。(URL <https://www.fukui-nct.ac.jp/>)
また、合格者には「合格通知書」を送付します。

6. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、『入学確約書』を令和5年11月30日（木）午後4時までに、本校学生課入学試験係へ提出してください。

なお、期限までに『入学確約書』を提出しない場合は、入学の意志がないものとして取り扱います。

7. 入学手続等

入学手続日、入学に必要な書類及び経費については、『入学確約書』提出者に、後日通知します。

8. 追試験の実施

「学力検査による選抜」において、下記に掲げる志願者を対象として追試験を実施します。

- (1) 対象者：感染症等に罹患、又は罹患している疑いがある者で、医師の診断書又はそれに類すると判断できるものを有する者
- (2) 追 試 験 日：令和5年7月2日（日）
- (3) 受 験 地：本校
- (4) 合格通知日：令和5年7月7日（金）
- (5) 入学確約書の提出期限：令和5年11月30日（木）午後4時

VI 社会人特別選抜

1. 出願資格

企業等に在職しており、次の各号のいずれかに該当し、所属する企業等の長が勤務成績及び人物とも優れていると認め推薦する者で、かつ合格すれば在職のまま本校専攻科へ入学が可能である者としてします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 高等学校の専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第58条の2の規定により大学に編入学することができる者
- (3) 短期大学を卒業した者
- (4) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者又は令和6年3月修了見込みの者
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (8) その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

専攻科修了には、本校が定める「環境生産システム工学」教育プログラムの修了要件を満たす必要があります。このため、本校専攻科を受験される場合には、出身校での修得単位について、本校規定に従って読替を行い、専攻科設置科目の履修によってプログラムの修了要件を満たすことが可能かを確認させていただきますので、入学願書受付開始日の3週間前までに本校学生課入学試験係にお問い合わせください。

2. 出願手続

(1) 願書受付

期 間	令和5年10月17日（火）から令和5年10月19日（木）まで
時 間	午前9時から午後4時まで（郵送の場合は、10月19日（木）午後4時まで に必着のこと。）
場 所	〒916-8507 鯖江市下司町 独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校 学生課入学試験係

(2) 出願書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
調 査 書	本校所定の用紙により出身学校長が作成し、厳封したものとします。ただし、出願資格(1)により出願する者で高等学校から高等専門学校に編入学した者は、出身高等学校の調査書も添付してください。 また、出願資格(4)により出願する者は、次の①又は②のいずれか、及び③の書類を提出してください。 ① 専修学校が発行する、修業年限2年以上で修了に必要な総時間数が1700時間以上の専門課程を修了したことの証明書 ② 専門士の称号授与証明書 ③ 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 なお、出願資格 (5)～(8) による場合は、資格に係る最終学校の成績証明書をもってこれに代えることができます。
成績証明書	出身学校所定の用紙を使用し、学校長が作成したものを提出してください。

写 真 票 ・ 受 験 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ってください。 (写真は、正面上半身、無帽、無背景(縦4cm×横3cm)で、出願前3か月以内に撮影したものとします。)
推 薦 書	本校所定の用紙により、所属企業等の長が作成したものとします。
小 論 文 等 用 紙	本校所定の用紙に横書きで文字数800字程度の小論文課題（必ず手書きのもの）と語学（英語）スキルを記入してください。
検 定 料	16,500円 ア 本校所定の振込依頼書により、志願者本人の名義で金融機関の窓口から振り込んでください。入学願書の検定料振込受付証明書（貼付場所）に検定料振込受付証明書を貼付してください。 なお、振込時に別途必要な 振込手数料は入学志願者本人の負担 となります。 イ 振込受取書と検定料振込受付証明書は、金融機関の受領印があることを確認のうえ受け取ってください。 ウ 振込受取書は本人の控えとして、受験票が手元に届くまで大切に保管してください。
返信用封筒	郵送で出願する場合は、長形3号(120mm×235mm)の封筒に、志願者の住所、郵便番号及び氏名を記入し、354円(速達料を含む。)分の切手を貼ってください。
そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、居住する市区町村長の発行する「住民票の写し」を提出してください。

※ 出願に関する注意事項

- ア. 郵送の場合は必ず**書留郵便**とし、封筒に「**専攻科出願書類在中**」と**朱書き**してください。
- イ. 出願書類等の不備なものは受け付けません。
- ウ. 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学を取り消すことがあります。
- エ. 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- オ. 受理した出願書類及び検定料は返還しません。
ただし、次の場合は検定料の返還請求ができます。
- (1) 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は受理されなかった）場合
 - (2) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - (3) 返還請求の方法
 - ①返還請求の理由、②氏名（ふりがな）、③現住所、④連絡先電話番号、⑤振込口座の金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義(志願者本人)を明記した「検定料返還請求書」(様式自由)を作成し、「振込受取書」を添付して下記送付先へ速やかに郵送すること。
(封筒には「返還請求書在中」と記入すること。)
- なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。
- 返還請求期限 令和6年2月22日(木) 午後5時必着
- 送付先 〒916-8507 鯖江市下司町 独立行政法人国立高等専門学校機構
福井工業高等専門学校総務課財務係

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、以下のとおりとします。

- (1) 検査期日 **令和5年11月12日（日）**
- (2) 検査内容 **面接**
- (3) 検査会場 **本校**

なお、小論文の課題は、「志望の動機、研究計画及び将来の抱負（８００字程度）」です。

※ 社会人特別選抜における選抜基準は次のとおりです。

- (1) 出願時に提出された小論文等用紙の内容及び出身学校長からの提出書類に基づいた面接（小論文に関する口頭試問を含む。）において、本校専攻科のアドミッションポリシーにあった者であると判定されること。

4. 選抜当日の注意

- (1) 午前９時までに一般教育棟大講義室前玄関ホールにて受付を済ませてください。
- (2) 面接開始後、２０分を経過した場合は、原則として受験できません。

5. 合格者の発表

選抜の結果は、令和５年１１月１７日（金）午後１時に本校構内に掲示するとともに、同日午後１時以降に本校ホームページ上でも発表します。(URL <https://www.fukui-nct.ac.jp/>)
また、合格者には「合格通知書」を送付します。

6. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、『入学確約書』を令和５年１２月１日（金）午後４時までに、本校学生課入学試験係へ提出してください。

なお、期限までに『入学確約書』を提出しない場合は、入学の意志がないものとして取り扱います。

7. 入学手続等

入学手続日、入学に必要な書類及び経費については、『入学確約書』提出者に、後日通知します。

8. 追試験の実施

「社会人特別選抜」において、下記に掲げる志願者を対象として追試験を実施します。

- (1) 対象者：感染症等に罹患、又は罹患している疑いがある者で、医師の診断書又はそれに類すると判断できるものを有する者
- (2) 追 試 験 日：令和５年11月26日（日）
- (3) 受 験 地：本校
- (4) 合格通知日：令和５年12月１日（金）
- (5) 入学確約書の提出期限：令和５年12月15日（金）午後４時

VII 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

福井工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障がい等による支援ニーズのある学生に対して、受験上又は修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障がい等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課入学試験係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備がかかることもあるため、入学願書提出期限の一个月前（推薦選抜にあっては令和5年4月11日（火）、学力選抜にあっては令和5年5月2日（火）、社会人特別選抜にあっては令和5年9月20日（水））を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、志願者、志願者の保護者及び、在籍する学校・企業等関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)高等学校、高等専門学校、企業等における、本校出願前の支援状況に関する資料が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても学生課入学試験係までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

（お願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、又は入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

相談窓口 本校学生課入学試験係

TEL (0778)62-8290

FAX (0778)62-2490

E-mail nyushi@fukui-nct.ac.jp

VIII TOEICテスト及び英検の評価点数

TOEICテストのスコアと学力検査「英語」の評価点数

TOEICテストのスコア	評価点数
730点以上	100点
600点以上730点未満	90点
470点以上600点未満	80点
420点以上470点未満	70点
370点以上420点未満	60点
320点以上370点未満	50点

英検の合格級と学力検査「英語」の評価点数

英検合格級	評価点数
準1級以上	100点
2級	80点

本校では、TOEICテストのスコア及び英検の合格級について、上記のとおり評価しています。学力検査当日「英語」を受け、上欄の評価点数以上の得点を獲得した場合は、その点数を採用します。

入 学 案 内

1. 本校専攻科の教育理念

本校専攻科では、専攻科の教育理念として、次の(1)～(3)に掲げる福井高専の教育理念に基づき、「福井高専専攻科の目指すエンジニア像」を掲げています。

(1) 基本理念

優れた実践力と豊かな人間性、創造性を備え、社会の多様な発展に寄与できる技術者を育成する。

(2) 養成すべき人材像

- ・地球環境に配慮できる社会的責任感と倫理観を持った技術者（人間性）
- ・科学技術の進歩を的確に見通す工学的素養を持った技術者（専門性）
- ・調和と協調を意識して、国際的に活躍できる技術者（国際性）
- ・幅広い知識を応用・統合し、豊かな発想力と実践力で問題解決できる技術者（創造性）

(3) 教育方針

- ・技術者として必要かつ十分な基礎力と専門技術を習得させる。
- ・個性を伸ばし、独創的能力の開発に努力する。
- ・教養の向上に努め、良識ある国際人としての成長を期する。
- ・健康の増進に努め、身体的精神的に強靱な耐久力を育成する。
- ・規律ある日常生活に徹し、明朗、闊達な資性の涵養を図る。

(4) 目指すエンジニアリング像

得意とする専門分野を持つことに加え、他の技術分野の知識と能力を積極的に吸収し、自然環境との調和を図りながら持続可能な社会を有機的にデザインすることのできる知識と能力を身に付けた、国際社会で活躍できる実践的技術者。

(5) 専攻科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

福井高専専攻科は、福井高専の教育理念に基づき「得意とする専門分野を持つことに加え、関連する他の技術分野の知識と能力を積極的に吸収し、自然環境との調和を図りながら持続可能な社会を有機的にデザインすることのできる知識と能力を身に付けた、国際社会で活躍できる実践的技術者」を福井高専専攻科の目指すエンジニア像に掲げ、各専攻において次に掲げる人材を育成することを目的としています。

専攻科生産システム工学専攻は、高等専門学校等で習得した基礎学力の基盤の上に、機械・設計関連、システム制御関連、電子・物性関連および情報・通信関連分野の知識を広く学び、これらを有機的に統合した生産システムの設計並びに開発研究等を行うことのできる創造力を持った実践的技術者となるような人材を育成することを目的としています。

専攻科環境システム工学専攻は、高等専門学校等で習得した基礎学力の基盤の上に、構造・材料関連、生物・化学関連、環境・分析関連および防災・都市システム関連分野の知識を広く学び、これらを有機的に統合した環境システムの設計並びに開発研究等を行うことのできる創造力を持った実践的技術者となるような人材を育成することを目的としています。

これらの目的を達成するために、専攻科修了時点において学生が身につけるべき能力（学習教育目標）を下記のように定めています。これらの能力の獲得と学則の定める所定の授業科目等を履修し、基準となる単位取得をもって本校専攻科の目指すエンジニア像の達成と見なし、本校専攻科を修了した者が、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格することによって学位が授与されます。

JA 地球的視点から多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。

JB 数学とその他の自然科学、情報処理、および異なる技術分野を含む問題にも対処できる、ものづくり・環境づくりに関する能力を身に付ける。

JC 国際社会で活躍する技術者に必要なコミュニケーション基礎能力を身に付ける。

JD 技術者に求められる基礎的なデザイン能力を身に付ける。

JE 実践的能力および論理的思考能力を総合的に身に付ける。

2. 専攻科の制度及び目的

専攻科は、高専5年間の教育課程の上に、より高度な専門的知識と技術を教授し、創造的な研究開発や先端技術に対応でき、かつ国際的にも通用する人材を育成するために設けられた2年制の課程です。平成4年度から設置が始まり、本校は平成10年度に設置されました。

専攻科の課程を修了すれば、大学改革支援・学位授与機構の認定を経て、学士（工学）の学位を取得することができます。これにより、4年制大学の学部卒業と同じ資格で就職でき、大学院博士前期課程への受験資格も得ることができます。

近年我が国の産業構造は大きく変化してきており、産業界、地域社会において求める人材も多様化・高度化しています。すでに高専を卒業した技術者に対しても、更に高度化した社会に対応するために、門戸を開き、地域に根ざした高等教育機関として発展することを目指しています。

3. 「環境生産システム工学」教育プログラム

専攻科では、社会のニーズに基づき、融合複合化する多様な産業技術に対応するために、得意とする専門技術分野を持つことに加え、他の技術分野を積極的に吸収して、自然環境との調和を図りながら、持続可能な社会を有機的にデザインすることのできる知識と能力を身に付けた、国際社会で活躍する実践的技術者を養成することを目指しています。

そのため、本科の全学科（機械工学科、電気電子工学科、電子情報工学科、物質工学科、環境都市工学科）の4、5年と専攻科の全専攻（生産システム工学専攻、環境システム工学専攻）の1、2年の教育課程で構成する融合複合型の「環境生産システム工学」教育プログラムを実施しています。

4. 専攻及び入学定員

生産システム工学専攻	12名
環境システム工学専攻	8名

5. 修業年限及び修了要件

(1) 修業年限

2か年

(2) 修了要件

ア. 学則に従い62単位以上修得

イ. 本校が定める「環境生産システム工学」教育プログラムの修了要件を満たすこと

※ 本校の専攻科の学生は、「環境生産システム工学」教育プログラムの履修者となります。

また、「環境生産システム工学」教育プログラムは、上記「ア」に加えてプログラム全ての学習・教育目標を達成するために次のことを求めています。

(1) 特別研究（Ⅰ・Ⅱ）における研究成果を外部（学会、研究集会、シンポジウム等）へ発表すること。

(2) 他専攻の専門展開科目を2単位以上修得すること。

上記の教育プログラムは、令和5年度入学生対象のもので、令和6年度は改訂されることがあります。

6. 専攻科の教育課程

専攻科の教育課程は、2専攻を複合融合した一般科目、専門共通科目と各専攻に分かれた専門展開科目に大別されます。一般科目、専門共通科目は両専攻の学生が履修できます。専門展開科目（各専攻の2科目は共通開講）は、各専攻での履修となります。生産システム工学専攻の基本となる学科は機械工学科、電気電子工学科、電子情報工学科、又はそれらに類した学科であり、環境システム工学専攻の基本となる学科は物質工学科、環境都市工学科、又はそれらに類した学科です。

以下に、専攻科カリキュラム・ポリシーを示します。

ディプロマ・ポリシーに掲げる人材を育成するために、福井高専専攻科では、独自に定めた教育プログラム「環境生産システム工学」の「学習・教育目標」の達成に必要な項目を適正に配置し、他の技術分野の知識と能力を積極的に吸収し、自然環境との調和を図りながら持続可能な社会を有機的にデザインすることのできる知識と能力を身に付けた、国際社会で活躍できる実践的技術者として、生涯にわたって自己研鑽ができる学習能力を身に付けた修了生を社会に輩出すべく、本校専攻科の目指すエンジニア像に掲げる人材の育成を行います。

【教育プログラム編成の考え方】

- (1) 異なる地域に属する人々がもつ文化や、それに根ざした価値観などを、多面的に認識でき、持続可能な地球社会を構築するという目的意識のもと、種々の分野における人間の活動が地球環境に与える影響について理解でき、技術者が社会に対して負うべき責任を明確に自覚したうえで、工学に関する学術団体が規定している倫理綱領を理解し、説明できる能力を育成するための科目を配置する。
- (2) 工学的諸問題に対処する際に必要な、数学とその他の自然科学に関する知識を理解でき、情報処理に関する基礎知識を理解でき、得意とする専門技術分野を持つことに加え、他の技術分野を積極的に吸収して、持続可能な社会の構築を意識したものづくりのプロセスに対応できる能力を育成するための科目を配置する。
- (3) 英語による日常的な内容の文章や対話を理解でき、英語により自分の意見・考えを適切に表現でき、得意とする専門技術分野に関わる英語論文等の内容を日本語で説明でき、自分の意見・主張などを、相手を意識した規範的な表現を用いて日本語の談話や文章で表現でき、日本語による口頭発表や討議において、自らの報告・聴衆への対応・他者への質疑などを行い、正確で分かりやすいグラフや図表を、必要に応じて用意できる能力を育成するための科目を配置する。
- (4) 構造物又は製品を設計する際に、複数の技術分野についても意識しながら、つくる目的を理解し、機能性・安全性及び経済性に加えて、環境負荷の低減・快適性などを考慮でき、新しく出会った課題について、自ら問題点を発見しようとする意識を持ち、既知の事柄と未知の事柄とを識別したうえで、それらを蓄積・整理でき、既成概念にとらわれない創造性豊かな発想のもと、自分の専門分野以外の技術分野を含む課題について、多様な観点から検討・考察し、その結果を具体的に示せ、異なる分野の人を含んだチームでの協議及び共同作業を通して、解決方法について複数の候補を見だし、その中から最も適切なものを選択できる能力を育成するための科目を配置する。
- (5) 与えられた実験・演習課題の工学的意義を理解し、提示された方法を計画・実行することにより、定められた期限までに妥当な結果を導け、数学や情報処理の知識・技術を用いて、実験又は数値シミュレーションの結果を統計的に処理し、その結果を評価して、対象としている工学的現象の成り立ち・仕組み等を理解し、説明でき、技術者が経験する実務上の工学的な諸問題を認識し、それらを具体的に示せ、考察対象に関する見解を論理的に構築し、それに基づいた問題解決のための仮説を立て、適切な実験・解析方法を選択できる能力を育成するための科目を配置する。

【評価方法】

各専攻の教育課程における各科目の単位認定は、定期試験、レポート、口頭発表等、多様な方法を用いて評価します。可否基準は60点と設定しており、合格した者には所定の単位が与えられます。

また、生産システム工学専攻入学生は機械系、電気電子系あるいは電子情報系に、環境システム工学専攻入学生は物質系あるいは環境都市系に、入学生の出身学科あるいは希望によって配属され、専門展開科目の中にある「工学実験（Ⅰ・Ⅱ）」「工学演習（Ⅰ・Ⅱ）」「特別研究（Ⅰ・Ⅱ）」を学びます。

以下の教育課程表は令和5年度入学生対象のもので、令和6年度は改訂されることがあります。

一 般 科 目 及 び 専 門 共 通 科 目

各 専 攻 共 通

区分		授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当		備 考
				1 年	2 年	
一般科目	必修	現代英語	2	2		
		技術者英語コミュニケーション演習	1		1	
	選択	生命進化論	2		2	
		人間と社会	2	2		
	一般科目開設単位数計		7	4	3	
	一般科目修得単位数		5 以上			
専門 共通 科目	必修	技術者総合ゼミナール	2		2	
		技術者倫理	2	2		
		創造デザイン演習	2	2		
		デザイン工学	2	2		
		先端材料工学	2		2	
		環境工学	2	2		
		地球環境	2		2	
	選択 必修	インターンシップ	2	2		インターンシップは 原則研修日 20 日以上 2 単位以上修得のこと
		海外インターンシップ	2	2		
		ものづくり情報工学	2		2	2 単位以上修得の こと
		画像情報処理	2		2	
		連続体力学	2		2	4 単位以上修得の こと
		量子力学	2		2	
		地球物理	2		2	
		現代数学論	2	2		2 単位以上修得の こと
		工業数理	2		2	
		物質科学	2	2		2 単位以上修得の こと
		生物学	2		2	
	専門共通科目開設単位数計		36	16	20	
	専門共通科目修得単位数		26以上			

専 門 展 開 科 目

(1) 生産システム工学専攻

区分		授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当		備 考
				1 年	2 年	
専門 展開 科目	必修	生産システム工学実験Ⅰ	2	2		
		生産システム工学実験Ⅱ	2	2		
		生産システム工学演習Ⅰ	1	1		
		生産システム工学演習Ⅱ	2	2		
		生産システム工学特別研究Ⅰ	6	6		
		生産システム工学特別研究Ⅱ	6		6	
		必修科目開設単位数計	19	13	6	
	選択	設計生産工学	2		2	
		生産材料工学	2	2		
		エネルギー変換工学	2	2		
		人間－機械システム	2		2	
		計測・制御工学	2	2		
		電子物性工学	2	2		
		システムプログラム	2		2	

	光学基礎	2		2	
	量子エネルギー工学	2		2	
	情報通信システム	2		2	
	計算機システム	2	2		
	オブジェクト指向プログラミング	2		2	
	選択科目開設単位数計	24	10	14	
	選択科目修得単位数	12 以上			
	専門展開科目開設単位数計	43	23	20	
	専門展開科目修得単位数	31 以上			

(2) 環境システム工学専攻

区分		授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当		備 考
				1 年	2 年	
専 門 展 開 科 目	必 修	環境システム工学実験Ⅰ	2	2		
		環境システム工学実験Ⅱ	2	2		
		環境システム工学演習Ⅰ	1	1		
		環境システム工学演習Ⅱ	2	2		
		環境システム工学特別研究Ⅰ	6	6		
		環境システム工学特別研究Ⅱ	6		6	
		必修科目開設単位数計	19	13	6	
	選 択	有機反応化学	2		2	
		生物化学工学	2	2		
		環境分析化学	2		2	
		機能材料化学	2		2	
		動的構造デザイン	2	2		
		高分子工業化学	2	2		
		応用微生物工学	2		2	
		環境水工学	2		2	
		建設構造・材料学	2	2		
		環境都市システム工学	2		2	
		都市防災システム	2	2		
		上下水道工学	2		2	
		選択科目開設単位数計	24	10	14	
		選択科目修得単位数	12 以上			
	専門展開科目開設単位数計		43	23	20	
	専門展開科目修得単位数		31 以上			

7. 学士の学位取得

本校専攻科は大学改革支援・学位授与機構（学位授与機構）から「学士の学位の授与に係る特例の適用認定」を受けています。したがって、学位授与機構に申請を行い、学位授与機構の認定を受けた科目の単位を指定された数以上に修得し、かつ、「学修総まとめ科目」の内容に関する審査（学位授与機構による書類審査）に合格すると、専攻科修了時に学士（工学）の学位を取得できます。これによって、4年制大学の学部卒業と同じ資格となります。

ただし、この認定に必要な単位修得要件と本校専攻科の修了に必要な単位修得要件とは一致していないため、入学後の単位修得に注意が必要です。また、学士申請には高専本科での修得単位も関係するので、本校以外から本校専攻科を受験される方は入学願書受付開始日の3週間前までに本校学生課入学試験係にお問い合わせください。本校卒業生についても、確認が必要な場合がありますので、同様にお問い合わせください。

（参考）大学改革支援・学位授与機構の審査手数料 32,000円（令和4年度実績）

8. 入学時に必要な経費

費 目		金 額	備 考
入 学 料		84,600 円(予定額)	
授 業 料		117,300 円(予定額)	前期分 (年額 234,600 円)
そ の 他 必 要 経 費	教科書代等	約 13,000 円	専攻ごとに別途指示
	日本スポーツ振興センター 災害共済給付掛金	1,550 円	年額
	諸経費	12,000 円	本校からの進学者(含既卒者) 前期分(後期以降12,000 円)
		22,000 円	本校以外からの進学者 前期分(後期以降12,000 円)

(注) 規則が改正された場合は、金額が変更になることがあります。

在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

9. 入学料・授業料の減免・徴収猶予及び給付奨学金制度

令和2年4月より高等教育の修学支援新制度が開始され、対象となる学生は、入学料と授業料の免除または減額、及び原則返還が不要な日本学生支援機構の給付型奨学金の受給が受けられます。

詳しくは、本校学生課学生生活係にお問い合わせください。

10. 貸与奨学金制度

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ健康であって学資の支弁が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与されます。

(参考) 貸与月額 (令和4年度実績)

	通 学 方 法	貸 与 月 額 (円)			最 高 月 額
第一種 (無利子)	自 宅	20,000円	30,000円		45,000円
	自 宅 外	20,000円	30,000円	40,000円	51,000円
第二種 (有利子)	20,000円～120,000円 (10,000円刻み)				

※申込時における前年1年間の家計収入が一定額以上の方は、各区分の最高月額以外の月額から選択することになります。

※給付奨学金を受給している者が、第一種奨学金を受ける場合、併給調整されます。

11. 入学者選抜に関する個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜や本校及び国立高等専門学校機構全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究のために利用するとともに、合格者に対しては、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料，授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校教育後援会及び同窓会の事務

本校の位置と利用交通機関等



【専攻科学生選抜に関する問い合わせ先】

〒916-8507 福井県鯖江市下司町
独立行政法人国立高等専門学校機構
福井工業高等専門学校
学生課入学試験係

TEL (0778)62-8290 (学生課)
FAX (0778)62-2490 (学生課)
E-mail nyushi@fukui-nct.ac.jp
URL <https://www.fukui-nct.ac.jp/>



福井高専